

令和6年度みやぎ環境交付金（メニュー選択型）事業

計画書
実績書

市町村名	大崎市	部課係名	産業経済部農政企画課
事業名	令和6年度大崎耕土市民参加型 生物多様性モニタリング事業		
新規・継続の別	新規 <u>継続</u> (丸で囲むこと)		
事業概要 (背景、目的、 事業内容、事業量等)	現在、国際的に生物多様性に関心が高まる中、「宮城県レッドデータブック」において絶滅危惧種が増加しているほか、「宮城県生物多様性地域戦略」では、生態系を育む「農村環境の保全」が課題として挙げられるなど、生きものにとって重要な生息・生育環境は急速に失われつつあります。 そのような状況の中、居久根などのランドスケープとつながった農業生物多様性が高く評価され、平成29年に世界農業遺産「大崎耕土」に認定された本市では、以前から生物多様性の保全に向けて取り組んでおり、農村環境における生物多様性の状況把握と、農村環境の魅力の再認識や保全に対する意識の向上を目的として、市民参加型の広域的なモニタリング調査を実施してきました。 本事業では、令和6年度に、市民や関係団体等の協力を得ながら、気候変動など、その土地の環境変化を知るためのバロメーターとして注目される「セミ類」の調査を行うこととし、後年度については、「バッタ類」、「チョウ類」、「アカトンボ類」、「メダカ、ドジョウ類」というように、5年程度周期で様々な生物群のモニタリング調査を実施しながら、大崎耕土の生物多様性や自然環境の変化等について把握することで、その保全に向けた取組を進めていきます。		
前年度からの変更点 (継続事業の場合のみ)	前年度「ドジョウ類・メダカ」から「セミ類」に調査対象種を移行		
事業完了日	令和7年2月10日		
事業 効果	二酸化炭素削減 効果(kg-CO ₂)	計画	※事業効果の算定根拠資料が別にある場合は添付すること。
		実績	
	その他（普及啓 発人数等）	計画	50人
		実績	